

2020 年度(令和 2 年度) 日本学生支援機構大学院貸与奨学金

「特に優れた業績による返還免除」募集要項

この制度は、大学院 **第一種** 奨学金の貸与を受けた学生で、特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構（以下、「JASSO」）が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還が免除されるものです。

出願方法 【郵送と WEB 申請の両方が必要です】	【郵送出願】 P.4 にある「V. 出願書類①～⑧（⑦は情報理工学研究科のみ）」を、角 2 封筒（A4 サイズが入る大きさ）やレターパック等に入れて、特定記録郵便で送付ください。 ※封筒の表に「日本学生支援機構 大学院貸与奨学金 特に優れた業績による返還免除出願書類」と朱記ください。 ※新型コロナウイルス感染症防止のため、窓口での受付は不可とします。 【WEB 申請】 郵送出願後、WEB 申請をお願いします。 ※WEB 申請で入力する事項は①奨学生番号、②2021 年 4 月以降の郵便番号・住所、③メールアドレス（確認用含む）の 3 点です。  https://cw.ritsumeai.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20201221111555258955199
宛先	※全キャンパス共通 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1 - 1 - 1 立命館大学 BKC 学生オフィス 大学院奨学金係 TEL : 077-561-2854
出願期間	<u>2021 年 2 月 8 日（月）～2 月 17 日（水）消印有効</u> ＜郵便に関わる注意事項＞ コロナ禍に関わり、一部の郵便局の営業時間が短縮されていることがあります。自身で確認し、期日までに提出してください。

※ 出願期間を過ぎてからの出願は一切受け付けません。

※ 期間内に一部提出できない書類がある場合は、必ず上記《問い合わせ先》へあらかじめご相談ください。

<問い合わせ先>

研究科	問い合わせ先
<衣笠キャンパス所属の研究科> 法学研究科 社会学研究科 文学研究科 国際関係研究科 映像研究科 言語教育情報研究科 先端総合学術研究科	衣笠学生オフィス（研心館 2 階） 〒603-8577 京都市北区等持院北町 5 6 - 1 立命館大学 衣笠学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：075-465-8494
<朱雀キャンパス所属の研究科> 法務研究科 教職研究科	
<BKC 所属の研究科> 経済学研究科 スポーツ健康科学研究科 理工学研究科 情報理工学研究科 生命科学研究科 薬学研究科	BKC 学生オフィス（セントラルーク 1 階） 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1 - 1 - 1 立命館大学 BKC 学生オフィス 大学院奨学金係 TEL：077-561-2854（直通）
<OIC 所属の研究科> 政策科学研究科 経営管理研究科 経営学研究科 人間科学研究科 テクノロジー・マネジメント研究科	

I. 制度概要

(1) 根拠規程

大学院において第一種学資金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績をあげた者とし JASSO が認定した者は、貸与期間終了時において、その学資金の全額又は半額の返還を免除することができる。

注釈) 学資金 = 奨学金（独立行政法人日本学生支援機構法主旨抜粋）

(2) 返還免除者数

JASSO の定めでは、各年度において全国で貸与期間が終了する者の 100 分の 30 以下としています。

大学毎の免除者数は JASSO が決定します。

(3) 返還免除額

大学院(各課程ごと)において貸与を受けた第一種奨学金貸与金額の全額免除もしくは半額免除

(参考) 2019 年度の本学の返還免除採用者数実績

修士課程	100 名（うち全額免除 33 名、半額免除 67 名）
専門職大学院課程	6 名（うち全額免除 2 名、半額免除 4 名）
博士課程	7 名（うち全額免除 2 名、半額免除 5 名）

Ⅱ. 出願資格

(1) 出願資格

2020 年度中（2020 年 4 月～2021 年 3 月の間）に大学院第一種奨学金の貸与が終了する者

（注 1）2020 年度中に奨学金貸与を途中辞退する方、途中終了する方、早期修了する方を含みます。

（注 2）**2021 年度に学術振興会特別研究員の採用が見込まれる方**は、2021 年 3 月末をもって日本学生支援機構奨学金を辞退する必要がありますので、今次の募集の対象となります（次回以降の募集は対象外となります）。

（注 3）課程修了は出願の必須条件ではありませんので、満期退学者、中途退学者も出願可能ですが、学内選考（研究科による）において基準・参考とする場合があります。

（注 4）条件を満たす場合でも、下記に該当する者は対象外とします。

- ・大学院在学中に立命館大学学生懲戒規程により懲戒を受けた者
- ・申請書類に虚偽の記載があった者

(2) 課程区分

出願および選考は、以下 3 つの課程区分で行います

- a. 修士課程、博士課程前期課程、一貫制博士課程※の 1, 2 回生（以下、修士課程）
- b. 専門職学位課程（以下、専門職課程）
- c. 博士課程後期課程、一貫制博士課程※の 3～5 回生（以下、博士課程）

※一貫制博士課程について現在 2 回生で、3 回生以降も貸与を継続する者は、3～5 回生での貸与終了時の免除申請対象とします（その場合は、1,2 回生時の貸与分も含めた貸与額の免除申請が可能となります）。

Ⅲ. 返還免除内定者になった方へ

「特に優れた業績による返還免除」採用時返還免除内定候補者で、2020 年度に日本学生支援機構奨学金第一種奨学金の貸与が終了し、内定の取り消しに該当しない方(※)もこの制度への出願が必要となります。なお、内定取り消しとなった場合でも、通常の審査対象として、この制度への出願はできます。

※内定取消の要件：貸与期間中の学生懲戒などによる奨学金の停止・廃止となった場合、修業年限内（3 年、薬学研究科薬学専攻は 4 年）で課程を修了できなくなった（学位を取得できなかった）場合。

Ⅳ. 返還免除の認定・返還免除候補者の選考・決定

(1) 返還免除者の最終決定

返還免除制度に出願した者の中から、大学が選考を行い「返還免除候補者」として JASSO へ推薦します。大学からの推薦者について、JASSO にて「特に優れた業績による返還免除者」の認定が行われます。また、免除額の[全額/半額]については、JASSO にて決定されます。

(2) 大学から JASSO への推薦者決定（学内選考方法）

大学から JASSO への推薦者は、出願者が所属する各研究科委員会での選考を経たのち、学内選考委員会において決定します。

<学内選考方法>

修士課程および専門職課程：書類選考により決定

博士課程：書類選考（一次選考）および面接選考（二次選考※）により決定

<博士課程の面接選考（二次選考）について>

・二次選考（面接）は **3 月 23 日（火）午後より朱雀キャンパスにて実施予定**です。

対象者には、3 月 12 日（金）までに詳細を個別通知（電話またはメール）します。面接にあたり、別途書面の提出を求めることがあります。

V. 出願書類

下記の**セット1**および**セット2**の出願書類を、それぞれ提出してください。

(注：必ず以下の順で綴ること…**セット1**＝①→②→③→④→⑤、**セット2**＝②→③→④→⑤)

	提出が必要な申請書類	セット1	セット2
①	出願票	○	-
②	成績証明書	○ 原本	○ 原本のコピー
③	業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1）	○ 原本	○ 原本のコピー
④	業績一覧表（様式 1-2）※現在所属の課程の様式を使用のこと。 ※A4 両面印刷のこと。	○	○
⑤	業績一覧表（様式 1-2）の添付資料（エビデンス）	○	○
⑥	学位論文またはこれにかわる特定の課題 * 法務研究科は不要	○	-
⑦	<情報理工学研究科のみ：①～⑥、⑧に加えて⑦も提出してください> 2020 年度 立命館大学大学院 情報理工学研究科 日本学生支援機構奨学金返還免除申請用 研究科独自書式	○ 原本	-
⑧	返信用封筒（長 3）1 通 宛名は「出願票」の「学内選考結果通知を希望する住所（2021 年 4 月 1 日以降に通知できる住所）」を記載ください。		

※ 一旦提出していただいた出願書類は返却しません。

※ 奨学生番号の記載漏れがないようにお願いします。なお奨学生番号は「奨学生証」に記載されています。
また大学へ電話で奨学生番号を聞かれてもお答えできませんので、予めご承知置きください。

① 出願票

提出用・本人控とも必要事項を記入してください。提出書類はチェックをして、提出漏れのないようにしてください。

② 成績証明書

現在在籍している課程の成績証明書を、学内の証明書発行機で発行し提出してください。
(原本は 1 枚で、もう 1 枚はコピーでかまいません。)

③ 業績優秀者返還免除申請書（様式 1-1）

○ 全体の注意点

- ・「氏名」と「フリガナ」は**必ず自署すること**。
- ・黒のボールペンで丁寧に記入してください（消せるボールペンでの記入は不可です）。
- ・申請書に文書を貼り付ける、別紙を添付することは認められません。
※文書を申請書に貼付し、その用紙をコピーしたものを原紙として利用することは可能です。
- ・申請書は、手書き、パソコン入力いずれも可能です（ただし、**氏名とフリガナは自署**）。

本学奨学金 Web サイトにフォーマットを置いてありますので、ご使用ください。

本学 Web サイトトップ→在学生の方→学生生活・就職→奨学金制度→学部生対象→経済支援型奨学金
→日本学生支援機構貸与奨学金→3.定期採用＜大学院生＞→返還免除

※インターネットで「返還免除」を検索すると年度の古い申請書が出てくる可能性がありますのでご注意ください。

・「現住所」は口座振替(リレー口座)加入申込書の「奨学生」欄に記入した住所を書いてください。

○ 大学院における研究課題等（様式 1-1）

学位論文の研究テーマ、もしくはそれに代わる特定の課題（課題研究論文、リサーチペーパー等）のテーマを書き、その概要を記入してください。

※**法務研究科の方は**、論文や研究に代わる課程での課題・目標とそれに関する計画や課題の概要等

＜記入上の注意＞

1) 博士後期課程の方は、**原則、博士後期課程在籍期間中の業績のみを記載してください。**ただし、博士後期における研究との関連で、博士前期課程のものを記載する必要がある場合のみ、それがはっきりわかるように明記すること。

2) 全ての業績を必ずこの枠内に収まるように記載してください。別紙の添付、用紙の付け足しは不可です。（行間やフォントサイズを工夫し、枠に入るように記入）。ただし、記入事項が多く読みにくくなる場合は、申請書に全て記入した上で、学内選考用に大きく読みやすくした別紙を添付。

④ **業績一覧表（様式 1-2【両面】）**

業績一覧表にある記入方法を確認し、作成してください。

⑤ **業績一覧表（様式 1-2【両面】）の添付書類（資料番号に呼応するエビデンスが必須です）**

添付資料の右上には、必ず、業績一覧表に記載の資料番号を記載してください。

著書や作品など現物の送付は必要ありません。コピーや写真等、評価されたことがわかる資料（本人が確認できる雑誌の掲載部分や賞状の写し等、本人氏名部分にマーカーで色付けしたもの）を添付してください。

⑥ **学位論文またはこれにかわる特定の課題（1部のみ：電子媒体による提出不可）**

「学位論文その他の研究論文」の証明書類は、論文全体の写しではなく、申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名および発行日等が分かる部分の写し等と論文内容の概要（1、2枚程度）をお願いいたします。

※ 研究科により学位論文の名称は異なります（課題研究論文、リサーチペーパー等）

※ 法務研究科は提出不要です。

※ 学位論文が未完成の方は、副論文や途中原稿等を提出してください。

⑦ **＜情報理工学研究科のみ＞**

別紙申請要件をご一読のうえ、「2020 年度 立命館大学大学院 情報理工学研究科 日本学生支援機構奨学金返還免除申請用 研究科独自書式」も一緒に提出してください。

VI. 新型コロナウイルス感染症に係る免除申請期間の延長対応について

2020 年度の業績優秀者返還免除制度の申請を希望していた者が、新型コロナウイルス感染症の影響（コロナ以外の事情は不可）による研究計画の遅延等のため、貸与期間中に業績を挙げるができなかった場合（課程を修了した場合は除く）は、特例として、1 年を限度に貸与期間延長及び延長期間中の休止（延長期間中は休止として奨学金の貸与はありません。）を認め、貸与終了月について 1 年を限度に先送りすることで、業績を挙げる期限を 1 年間猶予し、2021 年度の申請を可能とします。ただし、在学していることが前提の申請となります。また、標準修業年限を超えた奨学金の貸与もありません。

免除申請期間の延長対応を申請する場合、「令和2年度 業績優秀者返還免除申請期間延長届」（様式 3）と指導教員確認票の2点を2021年2月26日（金）までに P.1 宛先へ「特定記録郵便」または「簡易書留」など、履歴が残る方法で郵送のうえ、併せて P.2 の問合せ先へ送付をした旨、ご一報ください。

VII. 返還免除内定者の新型コロナウイルス感染症に係る対応について

返還免除内定者は、修業年限内で課程を修了できなくなった場合（学位を取得できなかった場合）、内定者の身分が取り消されますが、課程修了できなかったことが、災害、傷病、感染症の影響その他のやむを得ない事情（コロナ以外の事情も可）によるものであると認められる場合には、修業年限内で課程を修了したものとみなし、内定取消の対象外とすることを可能とします。

申請を希望する場合は、2021年2月26日（金）までに、P.2 連絡先へご一報ください。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸与期間中に業績を挙げることができなかった場合は、特例として、上記VIによる申請も併せて行うことが可能です。

VIII. 選考結果の通知

【大学による】返還免除候補者 結果(採否)通知（大学が返還免除候補者として JASSO へ推薦する段階の通知）

通知発送日：2021年5月17日（月）以降に発送予定

対 象 者：出願者全員。書面（郵送）にて通知します。

通 知 先：返信用封筒に記載した住所（「**出願票**」の「**学内選考結果通知を希望する住所**」）

【JASSO による】返還免除者 決定通知（免除額 決定通知）

通知時期：2021年7月下旬以降

通 知 先：返還手続き時の「**口座振替(リレー口座)加入申込書**」に記入した住所

※JASSO より返還免除者および免除額を決定した旨の通知があります。この通知をもって正式決定となります。全額免除か半額免除かは、このとき初めて通知されます。

※卒業後、リレー口座に記載した住所から変更になる方は、4 月中旬以降、なるべく早くスカラネットパーソナルで住所変更手続きを行ってください。変更時期によっては、変更前の住所に届く可能性もあります。

IX. その他

- (1) 機関保証制度に加入して奨学金の貸与を受けていた方で、返還免除において全額免除に決定した場合、保証料の返金があります。JASSO による免除認定後、後日返金についてお知らせが届きます。
この保証料返金業務は、（財）日本国際教育支援協会 が行います。

(2) 繰上返還について

返還免除候補者について、JASSO の返還免除認定結果（全額もしくは半額免除）が判明するまでに、出願者または出願者の連帯保証人等から全額または一部繰上返還を行わないようにしてください。JASSO が返還免除する前に返還済みであると、免除の対象がないこととなり、本制度の出願と相反します。

以上

<個人情報の取り扱いについて>

今回提出される申請書や家計状況を示す書類等の情報は、日本学生支援機構大学院貸与奨学金「特に優れた業績による返還免除」の選考に利用します。あなたの情報は、この利用目的の範囲内においてのみ利用されます。

記入例

令和2年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1)

令和 年 月 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長殿

本申請書記載事項に相違ありません。

免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績による返還免除を申請します。

該当する課程に■

フリガナ
氏 名

自署(氏名・フリガナ)

大 学 院 名					
課 程	☐ 修士（博士前期）課程	☐ 専門職学位課程	☐ 博士（博士後期）課程		
研究科名・専攻名			学 籍 番 号		
奨 学 生 番 号	6	0 6	生 年 月 日	昭 和 年 月 日	平 成
現 住 所	〒 電話番号 ()				
返還手続き時に口座振替(リレー口座)加入申込書に記載した住所を記入					

■大学院における研究課題等

題 目					
概 要	様式をダウンロードし入力した場合は印刷時に 右端が切れていないか確認をしてください。				

【返還誓約書の提出について】

該当するいずれかの□を■にすること。（提出予定の場合は提出予定年月も記載）

☐ 提出済み☐ 提出予定（令和 年 月 大学へ提出予定）

【口座振替（リレー口座）加入申込の手続きについて】

該当するいずれかの□を■にすること。（手続き予定の場合は予定年月も記載）

☐ 手続き済み☐ 手続き予定（令和 年 月 ）

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

【記入上の注意】

- 「課程」欄は、該当するいずれかの□を■にすること。
- 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびき（23頁）を参照のうえ、必ず5月末までに機構に届け出ること。
- 特に優れた業績であることを証明する資料及び業績一覧表を必ず添付すること。

■業績一覧表（表） 《記入方法》

1. 本書式は、両面印刷のこと
2. 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。（例：表・裏⇒1 / 3・2 / 3・3 / 3）
3. 業績には必ずエビデンスが必要です。（エビデンスが提出できないものは記載しないこと）
4. エビデンスは、ホッチキス留めはせず、すぐに外せるよう業績ごとにクリップ留めすること。
セット1、セット2ともに本人氏名部分に蛍光ペンを引くこと
5. エビデンスについては、全ページを提出する必要はありません。
・公刊学術論文、著作物は、申請者自身の名前が記載された目次頁及び論文の冒頭頁のコピー
・学会発表の場合は、発表内容・発表日時・発表場所が分かる資料のコピー
6. 各エビデンスの右上に資料番号を記載し、本表の該当する資料番号欄へ記載してください。
添付資料及び業績一覧表の両方に資料番号が記載のない資料は業績として認められません。

※各添付資料の右上に資料番号を記載し、本表の該当する資料番号欄へ記載してください。添付資料及び業績一覧表の両方に資料番号が記載のない資料は業績として認められません。

※必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になっても構いません。

奨学生番号	6	06	学 籍 番 号	
氏 名			研究科名・専攻名	
1. 学位論文その他研究論文				
【学位論文】 ※博士課程について学位論文のみの業績の場合は平均水準以上の評価であることを大学の推薦理由書に記入していただくようお願いください。				資料番号
※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は右欄に○を記載してください。			査読付き 原著論文	受賞 ・表彰
				資料番号
【研究論文】 ※①著者名、②論文名、③学術雑誌名（該当頁）、④発行日、⑤その他「掲載決定（予定）」等を記載してください。 (例)				
1. ①（本人氏名、共著者名）、 ②「 (論文名)」、 ③「 (学術雑誌名)」、④（発行日）			○	
2. ①（本人氏名、共著者名）、②「 (論文)」、 ③「 (学術雑誌名)」、④（発行日）、⑤掲載決定（予定）			○	
【学会での発表】 ※①発表者名、②題目、③会議名、④主催者名、⑤発表日、⑥表彰・受賞等を記載してください。 (例)				
1. ①（本人氏名、共同発表者名）、②「 (題目)」、 ③「 (会議名)」、④主催者名、⑤（発表日）、⑥●●ポスター賞受賞			○	
2. ①（本人氏名、共同発表者名）、②「 (題目)」、 ③「 (会議名)」、④主催者名、⑤（発表日）				
※1 日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合には、その旨を記載してください。 ※2 機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得等があれば記載してください。				
(例) 令和3年4月より、日本学術振興会の特別研究員（DC2）に採用されたために奨学金を辞退。				
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果				資料番号
※修士論文の代わりに作品や課題を提出する場合のみ記入（本項目は、博士（後期）課程は該当しません。）				
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果				資料番号
※修士論文の代わりに試験や審査を行う場合のみ記入（本項目は、博士（後期）課程は該当しません。）				
4. (専攻分野に関連した) 著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)				資料番号

■業績一覧表（裏）

（様式 1-2裏）

奨学生番号	6		0	6						学 籍 番 号	
氏 名										研究科名・専攻名	
5. 発明											資料番号
※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明（考案）者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載してください。											
6. 授業科目の成績											資料番号
成績証明書 ●●証明書など											
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績											資料番号
※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。 ※自身の研究等に関わらない補助業務は評価の対象となりません。該当する場合のエビデンスは、採用時に雇用主が発行した「雇用契約書」、または雇用の依頼が分かるもの（教授からの依頼に関するメール文のコピー等）になりますので、ご用意ください。「雇用契約書」の再発行には大変時間を要します。すぐに入手ができませんのでご注意ください。											
8. （専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績											資料番号
※発表会等の名称、開催日、開催場所、順位（●●人中●位）などを記載してください。 ※発表会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。											
9. （専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績											資料番号
※競技会等の名称、開催日、開催場所、順位（●●人中●位）などを記載してください。 ※競技会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。											
10. （専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）											資料番号